

平成30年度予算の審議

一般会計予算

質問 就学援助事業経費に関し、平成29年度から前倒しで支給されるようになったが、遅いとの声もある。手順はどうなっているか。

答弁 年度内に支給することで進めている。就学時検診の際に周知を図り、手順を踏みながら3月中には支給する段取りである。

質問 ふるさと納税の返礼品について、30年度はどのように対応する考えか。

答弁 国の指導に従い、高額な商品は11月末で外している。岩谷堂筆筒については、抵触しない金額の商品をラインアップに挙げる予定である。岩谷堂筆筒と南部鉄器について、組合と相談しながら進めていく。

質問 悠悠館の管理に関して、健康づくり指導員の雇用状況を伺う。

答弁 臨時職員であるため、雇用条件の良い仕事への転職が続いており、恒常的な人員不足が続いている。結果として、残された指導員への業務の集中

が負担となっていた。このため、抜本的な対策を講じ、非常勤特別職として雇用するとともに、利用率の比較的低い国民の祝日を休館日に加えるなど、処遇の見直しを図ったところである。



悠悠館での健康づくり

質問 国民健康保険税の滞納処分状況について、県内の差し押さえ件数の約20%が奥州市になっている。何らか

の手を打つ必要があるのではないか。

答弁 滞納額が増えないように、初期の段階から働きかけをしている。分納の相談についても、夜間や休日の相談体制を考慮していきたい。

質問 幼稚園教諭を配置できる見通しは立っているのか伺う。

答弁 担任については、確保できる見通しである。

質問 保育園においても年度途中の受け入れができるのか伺う。

答弁 年度当初については、目途が立っているが、年度途中については、難しい状況にある。賃金アップや要望に合わせた働き方など新たな取り組みも行う予定である。

質問 馬術競技振興供用馬飼育管理事業補助金について、どのように活用されているか。人力的にも、経済的にも馬の飼育は厳しい状況にある。より具体的な活用がなされるべきと考える。

答弁 岩手県馬術連盟に補助しているものであるが、馬の管理には非常にお金がかかる。一部を補助しているところである。今後のあり方について、市はもとより馬術連盟とも協議していく。

質問 小中学校・幼稚園の修繕費について、現場の要求額など状況を伺う。

答弁 現場からの要求額は、約6530万円。このことについて教育委員会

として要求した金額は、昨年度よりも約32万円増の約3970万円である。今回、予算として計上した金額は、約3778万円、昨年度よりも約159万円少なくなっており、校舎の老朽化対策が主な内容になっている。安全上問題があれば、この予算の中で対応していく。工事費はまた別の計上となる。

質問 (仮称)前沢北こども園新築事業の状況について伺う。

答弁 平成32年4月に供用の予定である。30年に測量・設計、31年に工事着手という工程を考えている。



隣接地に(仮称)前沢北こども園の建設が予定される前沢北幼稚園